

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 23日

福島県知事

殿

提出者



住 所 東京都中央区明石町 8 - 1

氏 名 三機工業株式会社
代表取締役社長 石田 博一

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-6367-7070

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三機工業株式会社 南部衛生センター現場事務所
事業場の所在地	福島県双葉郡楡葉町上繁岡山神160-2
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	設備工事業
② 事業の規模	受注金額：7,128,000,000（税込） 契約工期：令和3年5月28日～令和7年3月25日
③ 従業員数	現場常駐社員 5名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→破砕→再利用 木くず→破砕→再資源化又は熱回収 廃アルカリ→中和→再資源化、焼却 廃石綿等→埋立若しくは溶融処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別添「EMS実施体制図」のとおり (このほかに施工現場ごとに現場責任者を設置している)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	(別紙の通り)	
	排出量	(別紙の通り) t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃棄物の分別回収と有償売却による再資源化の推進 ・簡易梱包や無梱包の推進 ・端材のリサイクル推進(鉄・銅など) ・社員教育 ・産業廃棄物発生抑制		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(別紙の通り)	
	排出量	(別紙の通り) t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取り組みの継続と社員教育の充実		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(別紙の通り)	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	(別紙の通り) t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(別紙の通り)	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	(別紙の通り) t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(別紙の通り)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	(別紙の通り) t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(別紙の通り)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	(別紙の通り) t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(別紙の通り)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	(別紙の通り) t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(別紙の通り)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	(別紙の通り) t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(別紙の通り)	
	全処理委託量	(別紙の通り) t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	(別紙の通り) t	t
	再生利用業者への処理委託量	(別紙の通り) t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	(別紙の通り) t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	(別紙の通り) t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(別紙の通り)	
	全処理委託量	(別紙の通り)	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	(別紙の通り)	t
	再生利用業者への 処理委託量	(別紙の通り)	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	(別紙の通り)	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	(別紙の通り)	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書の別紙

単位:t(トン)

計画書 産業廃棄物の種類	第2面		第3面				第4面		第5面:現状、第6面:計画											
	排出量		自ら再利用を行った量		自ら熱回収を行った量		自ら中間処理により減量した量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		産業廃棄物の全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
廃アルカリ	37.72	33.948									37.72	33.948								
廃プラスチック類	12.1625	10.9463									0	0	12.1625	10.9463						
ガラス陶磁器等くず	6.275	5.6475									0	0								
コンクリート片	4677.45	4209.71									344.55	0								
廃アスファルト	13.91	12.519									0	0								
石綿含有産業廃棄物	24	21.6									24	21.6								
紙くず	0.6	0.54									0	0								
木くず	236.743	213.068									0	0								
建設混合廃棄物	15.99	14.391									0	0	0	0.6	0.54					
廃蛍光灯ランプ類	0.02	0.018									0.02	0.018	0.018	236.743	213.068					
合計	5024.87	4522.38									406.29	55.566	5024.87	249.505	224.555					